データベース論・演習

第7回 データベースプログラミング 2021/12/2

課題7-1 出身地で検索する

・ex7-1のMain.javaを書き換え、出身地を入力すると、 その出身地の人のリストを表示するプログラムを作ろう

変更する部分:

- 1. ユーザから県名を入力してもらうようにする
- 2. 検索条件を birthplace = '県名' になるようにする
- 3. 検索結果の表示を変える

ユーザから県名を入力してもらう

```
Scanner scanner = new Scanner(System.in);
System.out.println("5000件の名簿から出身地で検索をするよ。県名を入れてね");
String pref = scanner.next();
```

検索条件を変更する

```
try{
    Connection conn = DriverManager.getConnection("jdbc:sqlite:meibo.db");

String query = "select lastname, firstname, birthday from meibo where birthday = ? order by birthday";

int count = 0;
PreparedStatement ps = conn.prepareStatement(query);
ps.setString(1,pref);
```

検索結果表示を変える

```
21
           int count = 0;
           PreparedStatement ps = conn.prepareStatement(query);
22
23
           ps.setString(1,pref);
           ResultSet rs = ps.executeQuery();
24
           while(rs.next()){
25
             System.out.println(rs.getString(1)+rs.getString(2)+"(出身地:"+rs.getString
26
             (3)+")");
27
             count++;
28
           System.out.println(pref+"県生まれの人は"+count+"人いました。");
29
```

課題8-1 自分で新しい検索プログラムを作ってみよう

- 自販機データベース(vending_machine.db)を使って 課題5でやったような検索ができるプログラムを作る
 - 例1: 技大天久保の自販機プログラムを作ってみる (売り切れてない商品リストを出す→選択したもの商品の値段を言ってお金を入れてもらう→「ありがとうございました!」)
 - 例2:売上分析プログラムを作る
 - 商品名を入れたら、どの自販機で何個売れたかを出力する
 - 例3:在庫チェックプログラムを作る
 - 残り個数を入れたら、それ以下の個数しか在庫がない飲み物のリストを出す

```
try{
17
         Connection conn = DriverManager.getConnection
                                                           1. データベースに接続する
         ("jdbc:sqlite:meibo.db");
18
         String query = "select lastname, firstname, birthday from meibo
19
         where birthday like ? order by birthday";
20
21
         int count = 0;
                                                           2. 問合せを設定する
         PreparedStatement ps = conn.prepareStatement(query);
22
         ps.setString(1,"%"+year+"%");
23
                                                           3. 問合せを実行する
24
         ResultSet rs = ps.executeQuery();
25
         while(rs.next()){
26
           System.out.println(rs.getString(1)+rs.getString(2)+"(誕生日:"
           +rs.getString(3)+")");
                                                           4. 回答を取り出す
27
           count++;
28
29
         System.out.println(year+"年生まれの人は"+count+"人いました。");
30
        }catch(Exception e){
31
32
         System.out.println(e.getMessage());
33
                                       どの言語、どのライブラリ、どのDBMS相手でも
34
                                       基本的にプログラムの流れは一緒。
35
```

16

グループで作ろう

グループはあらかじめこちらで決めています

replitで同じプログラムを観れるので、 チャットなどを駆使してやってみよう

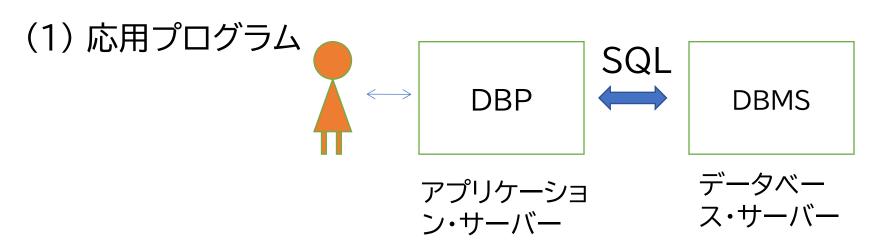
プログラムを書く担当を五分ずつ交代し、 周りのみんながどう書くかをチャットとか手話で 助言するというやりかたをお勧めします。

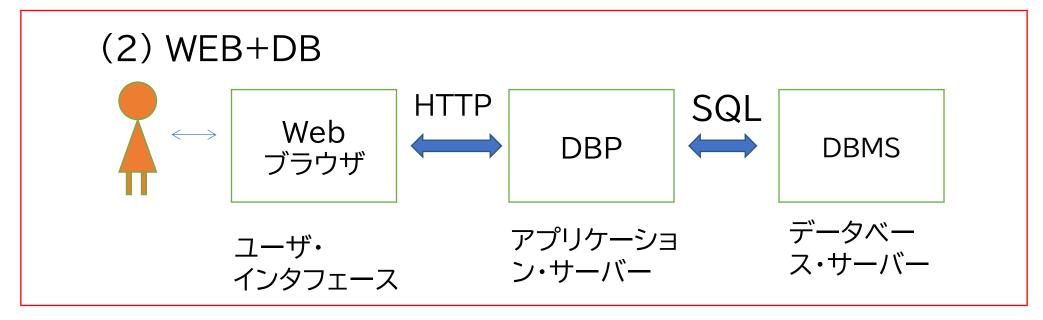
スケジュール

- 14:50-15:30 プログラムを作る
- 15:30-16:20 内容の発表
- 16:20-16:30 休憩
- 16:30-17:00 講義
- 17:00- 演習

Web+DBプログラミング

データベースプログラム(略してDBP)の動作形態





作ってみるプログラム



結構ボリュームがあるので 段階的にやります

- 1. Webアプリで、URLを指定してページが表示されるまで
- 2. データベースを検索する(ユーザの入力なし)
- 3. フォームでユーザの入力を受け取る
- 4. 2と3を合わせる

Step1: WebアプリでURLを指定してページが表示されるまで

https://www.abc.de.jp/meibo/search

Webサーバの住所 サーバ内の住所



ルーティング:サーバ内の住所と 実行するプログラムの対応関係を 定義すること

Node.JSのルーティング

サーバ内の住所

request: URLを指定するときに一緒に入力されるパラメタ類が入っている(後述)

```
app.get('/', function(request, response){
11
12
       const current = new Date();
13
       const data = {
         'month': current.getMonth()+1,
14
         'day':current.getDate(),
15
         'hour':current.getHours(),
16
         'minute':current.getMinutes()
17
18
       response.render("index.ejs",data);
19
20
21
```

response: 実行結果を表示する ためのオブジェクト

実行するプログラム

今プログラムで実行していること

```
app.get('/', function(request, response){
11
      const current = new Date();
12
13
      const data = {
14
        'month': current.getMonth()+1,
        'day':current.getDate(),
15
                                         大事なのはこの1行。Webページを表示する関数
        'hour':current.getHours(),
16
        'minute':current.getMinutes()
17
                                         1つ目の引数:
18
                                           Webページのテンプレート
      response.render("index.ejs",data);
19
20
                                         2つ目の引数:
    });
21
                                           フォーマットからWebページと作るときに
                                           埋め込むデータ
```

テンプレート

EJS: JavaScriptのテンプレートエンジン。 テンプレートの中でJavascriptのプログラムを 動かしてWebページなどを作る。

- HTMLのBodyの中身
- <%- month %>と<%- day %>
 - 第2引数で受け取ったデータをテンプレートに埋め込んで 最終課題ページを作っている

views/index.ejs ×

- 1 こんにちは!
- 2 本日は<%- month %>月<%- day %>日ですね。
- 3
- 4
- 5 サンプル1:フォームによる値渡し
- 6 サンプル2:データベース検索
- 7

8

こんにちは! 本日は12月1日ですね。

- サンプル1:フォームによる値渡し
- サンプル2:データベース検索

```
const sqlite3 = require('sqlite3').verbose();
11
12
    const fs = require("fs");
13
    const dbfile = "meibo.db";
    const exists = fs.existsSync(dbfile);
14
    const db = new sqlite3.Database(dbfile);
15
36
     app.get('/query_sample',function(request,response){
37
       const query = "select firstname, lastname, birthday, birthplace from
       meibo";
       db.all(query, function(err, rows){
38
                                              db.all 検索して結果を全部取ってくる
         const data = {
39
           'results': rows
40
41
         };
                                                          検索が終わったら
         response.render("query_sample.ejs",data);
42
                                                           実行するプログラム。
43
                                                           rowsに検索結果が配列で入っている
44
```

```
db.all(query, function(err,rows){

const data = {

'results': rows

};

response.render("query_sample.ejs",data);

});

data.resultsに検索結果を代入して、
Webページを作る材料にする
```

• テンプレートに検索結果を埋め込む

<% %> で挟んだところに Javascriptのプログラムをかけるので ここでfor文を回している。

results[i].lastname 検索結果のi番目の行のlastnameの値

テンプレートに検索結果を埋め込む

```
https://FantasticSmugGlitches.chiemi627.repl.co

    浜崎 祐介 (1981/01/28,長野県)

     <l
                                                    • 井原 紗希 (1967/02/24, 秋田県)
        <% for(i=0;i<results.length;i++){ %>
                                                    • 辻 敏昭 (1997/11/27, 大阪府)
 4
          <
                                                    • 篠崎 新吉 (1992/03/08, 茨城県)
 5
            <%- results[i].lastname %>
                                                    • 大津 治虫 (1985/12/28, 福岡県)
                                                    • 塩田 喜代子 (1976/04/13, 鳥取県)
 6
            <%- results[i].firstname %>
                                                    • 川井 栄蔵 (1982/11/17, 宮城県)
            (<- results[i].birthday-,
                                                    • 上田 菜奈 (1990/02/22, 福井県)
 8
            <%- results[i].birthplace%>)
                                                    • 菊池 広幸 (1972/10/02, 岐阜県)
                                                    • 石黒 美千子 (1994/03/03, 山梨県)
 9
          • 赤坂 政治 (1979/11/04, 大分県)
10
        <% } %>
                                                    • 大沢 英次 (1985/12/30, 茨城県)
11
     • 露木 光枝 (1974/09/20,沖縄県)
```

C

Step3: フォームでユーザの入力を受け取る

• HTMLで入力フォームをかける

```
<form action="form_sample" method="get">
     <input name="keyword"/>
     <input type="submit" value="検索">
   </form>
5
   入力されたキーワード: <%- keyword %>
6
                  検索
入力されたキーワード:
```

action = "form_sample" 検索ボタンを押したら、 サーバ内の住所 /form_sample を実行。

<input name="keyword"> とあり、keywordという変数名で サーバプログラムに渡せる。

Step3: フォームでユーザの入力を受け取る

• /form_sample でフォームに入力された値を受け取る

```
app.get('/form_sample',function(request,response){
29
      const data = {
30
        'keyword': request.query.keyword
31
32
      response.render("form_sample.ejs",data);
33
    });
34
                    <input name="keyword">で指定されたところ
                    に入力された文字は、こちらで使える。
                     request.query.keyword
```

課題8-2

- フォームで県名を書いてもらって、 その県出身のメンバーの氏名を出力する Webページを作ろう
 - サーバ内の住所は /birthplace
 - プログラム内の変数は好きなように変えて良い
 - ヒント: Step2とStep3を組み合わせる

補足:JavascriptのSQLプレースホルダ (?の部分に変数の値を埋め込むこと)

• Javaとは書き方が違います

```
//変数を lastname とし、そこに "渡辺"が入っているとする const lastname = "渡辺";
```

```
const query = "SELECT * FROM meibo WHERE gender = ?";
db.all(query, [lastname], function(err,rows){
```

}); ?に入るものを配列で指定している